

アメニティ創造のまちづくり実習 K 82 1103

第2学期 木 5-6、金 3-6 時限 (3 単位)	対象：社会工学類の 3,4 年次生を優先
担当教官： 大村謙二郎 (omura@sk)・小場瀬令二 (obase@sk), 斎尾直子 (nao-s@sk) 藤井さやか (fujii@sk)・村尾修 (muraio@risk)・渡辺俊 (shun@sk) Office hour：事前にメール連絡すること (.tsukuba.ac.jp を付加)	
参考資料：三川栄吉：住宅のデザインと製図，彰国社 (2,200 円) 住宅建築文化センター編，実践住宅模型講座，彰国社 (2,000 円) 大野秀敏編著：建築のアイデアをどうまとめていくか？もうひとつのテーマは「都市への戦略」，彰国社 (2,850 円)	
授業概要・教育目標：集合住宅等の図面読解を通して図面の描き方・設計者の設計意図・間取り・住棟配置の収まりを学習するとともに、住宅地の設計課題から、地区スケールの計画・設計方法・デザイン技法・プレゼンテーション手法等を習得すると同時に、RC 造／鉄骨造の中高層住宅／公共施設／業務施設等の設計製図を行い、もってアメニティ豊かなまちづくりの計画手法を学ぶ。	

授業計画：	
第1週	課題説明／講義：設計製図の基礎
第2週	集合住宅模写／講義：課題地の歴史と地域特性／課題地見学
第3週	集合住宅模写／講義：都市型集合住宅・複合施設等事例／課題地見学
第4週	設計製図 (エスキース) / 講義：集合住宅の計画／模写課題提出
第5週	設計製図／講義：集合住宅および公共施設・業務施設、複合施設の設計
第6週	設計製図／講義：模型の作り方および住宅地全体の計画
第7週	設計製図／中間発表会
第8週	設計製図／講義：プレゼンテーション技法
第9週	設計製図
第10週	最終発表・講評会

成績評価：出席・レポート・課題の内容で総合評価する。
備考：先行履修必須科目：住まいと居住環境の計画／都市空間の計画とデザイン／まちづくりの理論と実践／空間演習／町並みのリフォーム演習等。講義は、週6時限中1時限を用いて行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・設計製図 (図面作成作業等) の時間内に適宜、チェックや講評を行う。 ・設計製図は時間内に終わるものではなく、予習・復習に該当する作業として時間外にも行う。 ・実習HP http://toshiv.sk.tsukuba.ac.jp/jisshu/jisshu2/machi/index.htm ・本実習をするうえでいくつかの道具が必要となる。必要に応じて各自準備すること。